

令和4年度

# 事業計画（案）

社会福祉法人 祥水園

# 令和4年度 祥水園 法人事業計画（案）

## 法人理念

「してやるのではなくさせていただくのです」（宗祖お言葉18番）

## 法人経営指針

- ・共生 我々は社会・地域・ご利用者と共生する喜びと感動を創作する
- ・貢献 我々は誠実・努力・謙虚をモットーに絶えず自己研鑽に励み、  
社会・地域に貢献する
- ・誇りと幸福 我々は仕事への誇りと幸福を追求し、働き甲斐のある職場作りを目指す

## ・近況報告

### 昨年度介護報酬単価

令和3年度改定について主に5項目を挙げた。

1. 感染症や災害への対応力強化
2. 地域包括ケアシステムの推進
3. 自立支援・重度化防止の取組の推進
4. 介護人材の確保・介護現場の革新
5. 改定率は制度の安定性・持続可能性の確保 介護職員の人材確保・処遇改善にも配慮しつつ、物価動向による物件費への影響など 介護事業者の経営を巡る状況等を踏まえ、0.70%となり、

うち、新型コロナウイルス感染症に対応するための特例的な評価 0.05%（令和3年9月末まで）となった。

特に1.においては日ごろからの備え、業務の継続に向けた取り組みが重要視され、地域との連携や現行の委員会の開催や指針、訓練が重要視されることとなった。

このコロナ禍においても継続的なサービスが提供できる仕組みを作る必要性が喫緊であり、実際に感染症が発生した時に、居宅・通所・ショート・施設が連携をとって持続可能な介護サービスの提供を根幹に感染症対策を仕組みとして講じていく。

また、リスクマネジメントの推進も掲げられており、事故発生の根本的な発生原因、再発防止のためにどう仕組みを作りこんでいくかも考えていく必要がある。

この改定によってできるだけ多くの加算をとる体制を法人として取り組んでいくが、

ともすると加算をとれるからサービスをするという意識になりがちであり、そもそもの私たちの本来とする福祉の形をわすれないようにしていきたい。

昨年度に引き続き、コロナ禍の影響があり、法人としての活動は減少しているが、各部署がアイデアや工夫をしながらご利用者の安寧に務めた。お陰様でコロナ感染は今のところご利用者も職員も感染せず、訪印感染症対策の成果は評価できるのではないかと思う。

しかしながらオミクロン株の感染も広がりつつあるため今後も感染症対策を維持しつつ地域・ご利用者・職員の安寧に務めていきたい。

軽費老人ホームの大規模修繕も無事終了したが、仮設建築である有料老人ホームの開設が諸事情により大幅に遅れており、来年度満床開設に向けて行政と連携をとっていきたい。

また、2年前に購入した阪合部土地・家屋を有効活用するため本格的に始動する。日本財団が募集する「町作り交付金」を獲得すべく、活動を本格化する。

昨年度末より祥水園を舞台とした映画作成が進んでおり、この度完成となった。この映画を多くの人に観覧していただくように予算を上げ、考慮していく。

## 事業活動指針

- ① 法人健全経営
- ② 公益事業（FM五條・野原ダイニング・Miracle）健全経営
- ③ 感染症対策の継続・強化
- ④ 介護技術研修「I wish」行事をYouTube等に投稿し、人材確保につなげる
- ⑤ 各加算取得の体制強化
- ⑥ 阪合部土地・家屋の有効活用（補助金確保）
- ⑦ 地域との連携を図り、防災や災害支援活動を行う

令和4年度

# 事業計画（案）

特別養護老人ホーム  
水杜・水がたり

# 令和4年度 特別養護老人ホーム 水杜・水がたり事業計画（案）

## 水杜介護理念

私たちは、ご利用者の夢を諦めさせないことを誇りとし、自己研鑽に努めます。

## 水がたり介護理念

私たちは、今ある現状に満足せず、ご利用者の尊厳を守ることを使命とし、自己研鑽に努めます。

## 活動方針

令和3年度においても、新型コロナ対応を強化し安全第一の一年であった。手洗い・うがい・消毒・換気と言われる基本的な感染予防対策を継続的に行う事により、インフルエンザやノロウイルスの感染が激減し、当園では発症者が0名であった。

令和3年度介護報酬改定の流れも含め、災害・感染症対応の強化に向け、(1) 発生時への備えや事業継続に向けた取り組みを推進するために運営基準等も踏まえて考えられる方策、(2) 事業継続計画（BCP）の策定を進めるために考えられる方策、(3) 災害発生時や新型コロナ対応上の介護報酬の臨時的な取り扱いで ICT 活用など平時から取り扱う事を実践していく。

将来、新型コロナウィルス感染症の収束後も、地域との共存が不可欠であり、地域住民に防災協力を依頼するだけでなく、法人も地域の活動に参加する事で地域と密接な関係性を強化していきたい。

最後に、令和3年度介護報酬改定から始まった LIFE（旧 CHASE）が始まり、国も多く情報収集し国内でフィードバックしている中で、科学的介護に関する根拠に基づいた報酬改定への備えや、実際のご利用者の ADL、QOL の向上にフィードバックデータを活用していきたい。

## **介護部門 品質目標**

1. 感染症対策をはじめとする環境面・衛生面を改善する。
2. 内部研修を充実させ、リーダーの育成、また若手職員のスキルアップを目指す。
3. ご利用者の夢を叶える為に介護力を向上させ、専門職と連携し仕組みをつくる。

## **相談員・介護支援専門員部門 品質目標**

1. 入居者数の高稼働。入院者発生時はショートでの空床稼働により、稼働率の維持・向上を図る。
2. 各専門資格保有人材確保。SNS 等を用いて情報発信し質の高い人材確保に努める。
3. 情勢把握を隨時行い、各専門職と共有しシステム構築する。

## **事務部門 品質目標**

1. 財務規律の強化
2. 人材育成と多能工化

## **管理栄養士部門 品質目標**

1. ユニット会議に参加し、多職種協働でご利用者のニーズにこたえられるように努力する。
2. ユニット会議やカンファレンスで得た情報を元にケアプランを作成し、ご利用者の経口・自力摂取の継続や誤嚥性肺炎の予防等に努める。
3. 写真入り食形態表を活用する。新規入所や食形態の変更等の場合はお便りに同封し、入院の際はサマリーに同封する

## **看護・機能訓練部門 品質目標**

1. 職員間の連絡を密にし、情報を共有する事で疾病の予防と予測が出来るようする。
2. 終末期においても安心した生活が送れるよう他職間との連携・協働体制を深めていく。
3. 介護職と連携し、ご利用者の身体機能の維持・向上が出来るよう取り組む。
4. 毎日の生活を充実させるよう、QOLの向上に焦点をあてたリハビリを実施する。  
介護職と連携し、ご利用者の身体機能の維持・向上できるよう取り組んでいく。

## **歯科衛生士部門 品質目標**

1. 誤嚥性肺炎を含む全身的な感染症の予防と免疫力向上。
2. 「美味しい」を追求し、実現出来る環境を整える。
3. 歯科医師と連携し介護職員に対する研修を実施する。

### 法人行事

4月	お花見	11月	認知症フォーラム、防災訓練
6月	防災訓練、オープンホーム	12月	紅白歌合戦
7月	笹祈願	1月	新年会お祈り会、書初め会、寒行
8月	夏祭り　盆供養	2月	節分祭　開園記念式典
9月	彼岸法要	3月	彼岸法要

### 水杜・水がたり年間行事

9月	長寿式	10月	運動会
11月	芋ほり・柿狩り	12月	忘年会　餅つき大会
2月	新年会	3月	お花見
・季節ごとにご利用者の外出支援を計画実施			

### 水杜・水がたり月間行事

- ・お祈り会　月1回
- ・感謝祭　月1回
- ・誕生会　各ユニットにて開催
- ・移動販売（衣類）必要時連絡
- ・外食支援の実施

### クラブ・ボランティア活動

- ・踊りクラブ　月1回
- ・華クラブ　月1回
- ・ハンドベルクラブ　月1回
- ・特養喫茶　週1回
- ・書道クラブ　月1回
- ・フットマッサージボランティア　月1回
- ・絵本読み聞かせボランティア　調整次第での開催

### 教育訓練

#### (内　部)

- ・リーダー研修会　調整次第での開催
- ・次世代リーダー研修　調整次第での開催
- ・中途採用職員研修　調整次第での開催
- ・特養介護技術研修　月に2回以上（移乗・入浴など）

#### (外　部)

- ・ファーストステップ研修　3名参加予定
- ・ユニットリーダー研修　2名参加予定
- ・介護福祉士実務者研修　5名参加予定
- ・認知症実践者研修　2名参加予定
- ・認知症実践リーダー研修　1名参加予定

- ・認知症基礎研修 12名参加予定
- ・老施協各種研修発表会 2名発表予定

令和4年度

# 事業計画（案）

軽費老人ホーム 月街

# 令和4年度 軽費老人ホーム月街事業計画（案）

## 1. 軽費品質方針

- (1)社会・地域・法人内部署と協調し、福祉サービス活動を支援する。
- (2)ご利用者が尊厳を持ち、自立した心豊かな生活ができるように支援する。
- (3)生活支援に関する技術と知識を高め、業務の継続的改善を行う。
- (4)リスクマネジメント行動指針に鑑み、ご利用者の安心・安全を支援する。

## 2. 軽費処遇方針

軽費老人ホームは設立より46年目を迎えた。今年度軽費は「想像を超える。」をテーマに取り組んでいく。今まで軽費では様々な取り組みを行ってきた。特に恒例行事はご利用者にとって季節感を感じることが出来るなど、毎月の楽しみになり、喜んでいただくことできている。しかし行事の中にはマンネリ化している行事もある。恒例となることは悪いことではないが、どうすれば更にご利用者に楽しんで頂くことができるか、ご利用者に活躍していただくことができるか。より良くを考えるために今まではこうだったという固定概念捨て、何故この活動を行っているのか在り方をもう一度見直すことが必要なのではないかと考えている。そのうえでご利用者やご家族が思っていることや考えていることニーズに応えるのではなく、それを超えていくことが大切であると考えている。無難にこなすのではなく新しいことへの挑戦、もしくは今あるものをより良くする。ご利用者はもちろん、自分たちの想像も超えて。先人たちが作り上げてきてくださった物を生かしつつ、時代に合わせもう一度建て直していくことで軽費老人ホーム月街としての新たな価値を生みだしていく。

## 3. リスクマネジメント方針による具体的な行動指針

- (1) 地域との関わりの中で生じる事故や苦情に関するリスクに対してマネジメントを行う。
- (2) 外部からの持ち込みに関しての感染症対策や衛生管理体制に関してのリスクマネジメントを行う。

## 4. 各部署品質目標

### 1) 事務部門

#### 相談員品質目標

##### 品質目標

- 1.地域との連携を行う。
- 2.稼働率の高水準維持。

#### 事務員品質目標

##### 品質目標

- 1.月次決算のタイムリーな情報共有
- 2.事務所内の継続的業務改善

## 2) 生活支援部門

### 生活支援員品質目標

#### 品質目標

1. 地域への貢献
2. クラブの充実

## 3) 医療部門

### 看護師品質管理

#### 品質目標

- 1.ご利用者の健康意識を高める
- 2.職員の医療面の知識、技術の向上

## 4) 給食部門

### 栄養士品質目標

#### 品質目標

1. 食事イベントの実施

## 5.令和4年度 役割分担表

### 1、ISO 担当

NO	ISO 担当	リーダー	サブ・メンバー
1	サーベイランス	①	②
2	校正	②	④
3	在庫管理	③	厨房職員、生活支援員
4	ISO 委員会	①	各部署 ISO メンバー

### 2、懇談会・健康教室

	懇談会	健康教室		懇談会	健康教室
4月	⑤	①	5月	⑥	⑤
6月	⑦	②	7月	⑧	⑥
8月	⑤	③	9月	⑥	⑦
10月	⑦	④	11月	⑧	⑧
12月	⑤	①	1月	⑥	⑤
2月	⑦	②	3月	⑧	⑥

### 3、年間計画（法人行事・軽費行事）

月	行事	リーダー	サブ
4月	生誕祭	①	⑧
	花見	①	生活支援員

5月	オープニングフェスティバル	⑥	生活支援員
	地域貢献	②	⑦
6月	軽費防災訓練	①	⑧
7月	ちべん保育園来園	①	④
	きゅうり加持	⑤	④
8月	盆供養	②	⑤
	地蔵盆	⑧	⑤
9月	夏祭り	①	生活支援員
	夕戯れ会	⑥	⑧
10月	長寿式	①	⑧
	彼岸法要	⑤	⑥
11月	地域貢献	③	⑦
11月	認知症フォーラム	①	⑦
	法人防災訓練（夜間想定）	①	⑦
	ちべん保育園児来園(お弁当)	①	④
12月	忘年会	⑦	生活支援員
	紅白歌合戦	⑧	生活支援員
	餅つき	④	①
1月	寒行	①	⑤
	軽費書初め	⑥	⑧
2月	節分祭・豆まき	⑦	生活支援員
	開園記念式典	①	⑦
3月	彼岸法要	⑤	①

注：すべての法人・軽費行事の総括は施設長が行う。

※太字は法人行事

#### 4、居室担当

ユニット名	生活支援員	ユニット名	生活支援員
宇智の丘	⑧	桔梗	⑦
ほととぎす	⑥	金剛	⑤

#### 5、クラブ活動・DT・認知症予防

クラブ名	リーダー	サブ
カラオケ	⑦	⑧
書道	②	⑥
ハンドベル	⑤	⑧
カナリアクラブ	⑥	⑤
囲碁将棋	⑧	⑦
御詠歌	⑥	⑤
癒し会	⑤	-
御廟参拝	⑥	-

喫茶寿々	⑥	④
写経		
寺子屋	①	⑧
大人の塗り絵	③	-
互助会	③	-
お運び	担当生活支援員	
誕生会（毎月）	月当番支援員	
もの忘れ外来	②	
散髪美々	月当番支援員	

①櫻井施設長 ②水野看護師 ③磯田事務員 ④新谷栄養士 ⑤小松主任支援員

⑥山崎支援員 ⑦森支援員 ⑧豊島支援員

## 5. 軽費の増設について

軽費老人ホームの大規模修繕を行う際に仮設住宅として使用した星街について今年度は軽費の付属施設として活用していく。ご利用者の行事での使用、職員の研修に活用するなどしていき、軽費のみではなく法人全体としても施設の有効活用が行えるように発信していく。

令和4年度

# 事業計画（案）

グループホーム 慈泉庵

# 令和4年度 グループホーム慈泉庵事業計画（案）

社会福祉法人 祥水園 法人理念

「してやるのではなく、させていただくのです。」

## 1. 慈泉庵 運営方針

- ①私たちは、ご利用者が住み慣れた地域で心豊かに過ごせるように支援します。
- ②私たちは、ご利用者が尊厳を保持し、生きがいを持った生活を支援します。
- ③私たちは、絶えず自己研鑽に励み、ご利用者に安心・安全な介護を提供します。

## 2. 処遇方針

グループホーム慈泉庵が設立し、今年度10年の節目を迎える。10年の実践の中で培ってきた知識・技術を最大限発揮できるように大きなテーマとして『施設内で完結させないケア実践～いつまでも、どこまでもつながり持ち続ける～』として掲げて活動を行う。認知症も持つご利用者が生活を行っているが、できることや可能性が生活の中にある。その中で、ご利用者の力を最大限発揮し、「ただ1日を楽しむ」～「すごい！できるね」毎日の再発見と新発見」を令和3年度のテーマに掲げ実践を行ってきた。ご利用者の可能性を新たに気付かせてもらうことや再び力を広げていけると感じができる実践ができた。その気づきや可能性を施設の中だけではなく、社会や地域に発揮していくような実践を行っていく中で、昔なじみの関係やご家族・友人・地域とのつながりを強固なものとする取り組みや再構築できるような実践を行っていく。実践の中で介護の当たり前や職員の当たり前を再度見つめなおし、自分たち・事業所の可能性を広げていけるようなアイディアを出しを行い、具現化して行けるチーム作りへの取り組みも行っていく。

また、新型コロナウイルスなどの感染症対策の強化は基本とし、昨年から継続してご利用者の力を地域に活かしていくことや楽しむ中での外出支援も継続的に実施していく、つながりを施設内だけではなく、地域とのつながりを持てるように支援していく。また、地域との防災に関する関係強化にも力を入れ、防災訓練時の協働や運営推進会議の際に意見交換を行っていく。

## 3.品質目標

### 品質目標

- ① 事業者外・地域を巻き込んだ個別支援の実践
- ② 認知症の啓発活動・広報活動の拡充
- ③ 地域の認知症カフェの開設

#### 4. 年間計画（法人・慈泉庵行事）

4月	生誕祭、お花見
5月	防災訓練、地域貢献
6月	流しそうめん
7月	きゅうり加持
8月	盆供養、夏祭り
9月	長寿式、彼岸法要
10月	運動会、さんま祭り
11月	認知症フォーラム、防災訓練
12月	紅白歌合戦、忘年会、餅つき
1月	書初め、新年会、寒行
2月	開園記念式典、節分
3月	彼岸法要

※誕生日会はご利用者の誕生日当日に実施予定

※上記以外の食事等に関するイベントを月2回程度実施計画する

#### 5. 研修計画

- ①認知症介護実践者研修 1名
- ②認知症介護リーダー研修 1名
- ③その他介護知識・技術に関する研修 都度

令和4年度

# 事業計画（案）

在宅支援事業所 水輪

デイサービスセンター 漣

ケアプランセンター 水面

ヘルパーステーション ひと雲

## 令和4年度 デイサービスセンター漣 事業計画（案）

### 1. 活動方針

令和3年度は介護報酬改正に伴い、算定基準の変更等に対応できる仕組みつくりに追われる1年であった。コロナ禍の影響により、稼働率の低迷も続いたが、ワクチン接種が進んだことで、少しずつ稼働率も上昇し、また、新しい生活様式、デイのルールが定着した。令和4年度は、日平均稼働率23人を目指し、稼働率を上げていくための取り組みを重点的に行っていきたいと思います。自立支援を見据え、自己決定を重要視し、ご自分でデイサービスの過ごし方を決められるデイサービスを目指したいと思います。

### 2. 部門目標

- ① 稼働率の維持・向上
- ② 食中毒防止
- ③ 感染症発症及び蔓延を予防

### 3. 部署目標

#### ①-1 ISO9001：2015による業務改善

- (1) サーベランス年1回（2月）
  - ・品質マネジメントシステムの構築を図る。
- (2) 内部監査ならびに委託先の監査・評価
  - ・定期的な内部監査を実施し、業務の見直し・改善を行うこととする。
  - ・業務委託先については監査を実施し、業務の評価・見直し・改善を行うこととする。

#### ①-2 計画に基づいた営業活動の実施

- ・営業活動計画を作成し、営業努力目標の達成に向けて年間を通じた営業を行い、稼働率の向上を目指す。

##### <営業計画>

- ・チラシのポスティング
- ・お友達紹介キャンペーンのチラシをご利用者に配布
- ・お盆、年末年始、イベント時の追加利用のチラシをご利用者に配布
- ・SNSの発信

#### ②定期的な衛生面の見直し（内部監査の実施）

- ・3か月ごとに衛生面の見直しとして、内部監査を実施する。対象としてフロア内のキッチンと野原ダイニングを交互に行うこととする。

### ③嘔吐物処理研修をはじめとする感染症対策の継続的な実施

- ・嘔吐物処理研修を定期的に実施し、迅速な対応手順の精査や感染症や食中毒による影響やリスクについての検討を行う。またフロア以外でのケースも想定されるため、各場面に応じた処理方法を実施、最小限のリスクで対応できるようとする。
- ・パワーポイントを使用したご利用者向けの健康教室の実施。ご利用者への啓発を行いつつ感染症のリスク軽減の機会を図ることとする。
- ・コロナ発症者及び濃厚接触者へが出た際の対応の確立

#### <各ケース想定嘔吐物処理研修計画>

- ・7月 緊急時対応研修：嘔吐処理（フロア編）
- ・9月 緊急時対応研修：嘔吐処理（車内編）
- ・1月 緊急時対応研修：嘔吐処理（入浴編）

#### <健康教室>

- ・4月…コロナウィルス
- ・6月…脱水症状
- ・8月…食中毒
- ・10月…インフルエンザ
- ・12月…ノロウィルス
- ・2月…口腔ケア

#### <職員研修>

- ・5月…感染症
- ・11月…災害と感染症

# 令和4年度 ケアプランセンター水面 事業計画（案）

## 1. 近況報告

昨年に引き続いてのコロナ感染症蔓延により、訪問自粛や、会議の仕方がズーム・ラインでの開催が主流となったり、在宅勤務など多様な勤務形態が図られるようになった。

在宅支援も、8050問題など、ご利用者本人のみの支援をしていくだけでは足らず、そのご家族の支援も必要等、支援の仕方にも多様性が求められるようになったり、各方面多様性が求められる時代となっています。

今後の営業の仕方は、SNS等を利用し、効果的かつ迅速に行えるようにします。また、五條市だけでなく、五條市周辺地域に月1回はチラシのポストインに行き、新しい顧客の獲得をして行きたいと思います。また、週に1回はケアマネの勉強会を開いたり、常に他部署、他事業所と連携を図りながら、今の時代に合った、質の高い支援を行っていきたいと思います。

## 2. 部門目標

### ①稼働率の維持・向上

- ・ケアマネ同士、他部署と常に情報を共有し(ご利用者、ご家族が何を求めているのか)、ニーズにあつた、サービスの提供を行う。
- ・SNS等の活用、広範囲に広報し、顧客獲得を目指す。  
アイパッドを活用し動画、写真を撮影、引き続き『見える営業』をしていきたいと思います。

### ②食中毒防止

デイサービスの検食や内部監査に参加しチェックする。在宅で不衛生など衛生管理が困難なご利用者は、必要なサービスを調整する。

### ③感染症発症及び蔓延を予防

感染症に関する情報は、常に気を配り各部署との連携を図りながら感染症予防に努める。  
職員は感染予防の研修に参加し、知識、意識を高め、ご利用者、ご家族に伝達していく。

## 3. その他

○営業計画・・・橋本、大淀、下市、御所方面へのチラシ配布。

その際、他部署のチラシも持っていき、門戸を広げる。

○特定事業所加算取得・・□利用者に関する情報又はサービス提供しに当たっての留意事項に係る伝達等を目的とした会議を定期的に開催。

□当該指定居宅介護支援事業所、介護支援専門員の計画的な研修実施。

□地域包括支援センター等が実施する事例検討会に参加している事。

□他の法人が運営する指定居宅事業所と共同で事例検討会、研修会議等の実施。

□青・赤・緑本の勉強会実施。

## 令和4年度 ヘルパーステーションひと雫 事業計画（案）

### 〈 ヘルパーステーションひと雫 〉

令和3年度は後半でコロナ禍による影響があった。訪問先でのご家族のコロナ感染が判明し、そのため登録ヘルパーが長期休暇を余儀なくされる事態が起ったが、サービス提供責任者が中心に兼務の介護員にも分散し訪問対応した結果、訪問数を減らすことなく扶養限度額の制限のある登録ヘルパーの活動も調整する事ができた。

新規依頼は受けていたが要支援の方への訪問依頼が多く、利用訪問回数が少ない点で大きな増収には繋がっていない。また要介護の利用者数は伸び悩みが見られた。

しかし今後も利用人数上限40名での増収を図らなければならない為、サービス提供について引き続きご利用者の心身状況の変化を把握し支援内容の見直しを行い、担当ケアマネージャー、軽費、デイサービスとの連携を取り新たなニーズを発見しサービスの追加に繋げるとともに、ご利用者の自立支援についての目標にも取り組んでいきたい。

自費サービスにおいても通院介助等積極的に行う。

登録ヘルパーの増員については、今後もハローワークへの求人やSNSの活用方法にもインパクトのある内容を発信し登録ヘルパーの獲得に繋げる。

### 部門目標

- ① 稼働率の維持・向上
- ② 食中毒防止
- ③ 感染症発症及び蔓延を予防

### 部署目標

- ① 通院介助や外出、介護保険外での自費サービスをサービス提供責任者が中心に回り増収を図る。訪問業務は引き続きサービス提供責任者、登録ヘルパー及び兼務の介護員で円滑に回るように訪問調整を行う。サービス提供責任者の事務処理業務で他部署に移行できる業務をスムーズに引き継ぎ、訪問業務に専念しモニタリングなどもより計画的に行い登録ヘルパー、兼務介護員の意見交換にも活用する。
- ② 調理前の手洗い徹底、マスクの着用、調理器具の消毒、食材のチェック、ご利用者の手指消毒にも適宜注意を促す。ご利用者の食生活の確認等を行う。
- ③ 訪問前後の手洗い、うがい、消毒を徹底とジェスパ、タケックス携行の継続。  
訪問時は必要に応じフェースシールド、アイシールド、マウスシールド、防護服の装着を引き続き行う。ご利用者の身体状況、環境面の観察も強化し感染症の蔓延や症状悪化を防止する。  
感染症の知識を幅広く得る研修の実施や内部研修の感染症研修への参加、または資料配布を行い注意喚起する。

令和4年度

# 事業計画（案）

公 益 事 業

野 原 ダ イ ニ ン グ

F M 五 條

ス ポ ー ツ ジ ム Miracle

リラクゼーションスペース JADE

# 令和4年度公益事業部事業計画（案）

祥水園野原西 village の意義、「地域共生」を目的とし、地域住民の方やご利用者、ご利用者のご家族、職員が交流を生み、暮らしに活力を与え、生きがいや癒しを感じる事が出来るサービス提供に努める。法人内部署と連携、協調しながら公益事業の運営を行う。

## 【野原ダイニング】

### 目標

1. 新規顧客の確保・営業の強化
2. 物価高騰に対するコスト削減
3. 廉価な食事の次世代育成

## 【FM五條】

### 目標

1. 防災・減災情報の発信、災害時の情報発信による地域貢献。
2. 2期連続の黒字化（設備機械更新のための積立金の確保）
3. 地域へのアピール強化による、地域リスナーの拡大。

## 【スポーツジム Miracle】

### 目標

1. 新年度に向け、会員の再入会・新入会の正確・迅速な手続きの実施。
2. 健全運営、広報活動から事業収入予算の達成。
3. トレーニングメニューを見直し、地域の人々・職員の健康維持に貢献。

## 【リラクゼーションスペース JADE】

### 目標

1. ご利用者、職員の安寧の為健全な運営を行う。
2. ご利用者、職員利用の増加につなげ 黒字化

令和4年度

# 事業計画（案）

五條バスケット

## 令和4年度五條バスケット事業部事業計画（案）

昨年度、地域経済発展と活性化に関する事業を行い、

豊かな地域資源と観光資源を活用し、福祉の増進に寄与することなどを目的として、

収益事業「特産品の販路拡大に関する普及事業及び販売事業」を新設、「五條バスケット」

の販売をスタートさせた。

初年度は商品の認知度を拡げるため、関係先の贈答用に使用。

今年度はふるさと納税、ふるさとチョイスとの連携を強化し、市内、市外へと商品の魅力を

PRしていく。

### 目標

1. SNS等を活用したPR強化
2. 市内お土産売り場の開拓
3. 五條市導入のふるさとチョイスへの対応